

個人質問

議会事務局 処理欄	令和 8年 2月12日 8時30分 受付
	質問 順位 第13番

武豊町議会議長 石川 よしはる 殿

武豊町議会議員 青木 信哉

一般質問の通告について

令和8年第1回武豊町議会定例会において、次のように質問したいから通告します。

質問事項	質問の要旨(具体的にご記入願います)
<p>1. 武豊町の地域公共交通の充実について</p>	<p>【趣旨説明】本町の地域公共交通には平成22年7月から運行されているコミュニティバスゆめころんとバス停まで遠くて生活の足がないなどの問題解消を目的にゆめころんを補完する武豊町接続タクシーがあります。またその他にも広域ネットワークとして赤ルートのイオン半田・青山駅への乗り入れ、常滑市のグリーンが常滑駅と知多武豊駅間を運行しています。ゆめころんの利用者は令和2年度新型コロナウイルス感染症の影響により大きく減少後も徐々に回復傾向となり令和7年度（令和6年10月から令和7年9月）は10万1245人と過去最高となり住民の足として定着しています。令和4年4月に策定された武豊町地域公共交通計画では、計画の将来像として誰もが安全・安心で快適に移動できるまちとして「公共交通サービス」のさらなる充実を目指すとしています。そのなかで交通の課題として交通不便地域におけるサービス提供のあり方を見直す必要がある等、5点を挙げています。バス停から遠い住民に対しては接続タクシーがありますが利用者数は令和5年度590人、令和6年度623人、令和7年度577人とあまり利用されていません。鳥羽町長は町長就任後の施策方針演説の中でコミュニティバスのルート再編、運転免許返納後のシニアカー購入支援、買い物タクシーチケットの配布を挙げられ、6月の定例会一般質問の中でも一人暮らしの高齢者でも交通や買い物に困らない環境を整えて参りたいと考えていると答弁しています。またコミュニティバスルート再編にあたっては自らが参加するワークショップを開催しそこで行われる意見交換を大切にして参りたいとしています。</p> <p>令和8年度は地域公共交通計画の最終年にあたり計画の評価と改善そして新しい計画策定の年となります。そこで武豊町の地域公共交通の充実に対してどの様な考えをお持ちか以下質問します。</p> <p>【質問事項】</p> <ol style="list-style-type: none"> ① コミュニティバスおよび接続タクシーの過去5年間の利用状況と運行経費、町の財政負担の状況についてお伺いします。 ② 高齢者や免許返納者そして交通弱者の移動確保という観点から、現在のルートやダイヤは十分であると考えているか。 ③ 運転免許返納後のシニアカー購入支援、買い物タクシーチケットの配布の予定はあるのか。 ④ 5回開催されたワークショップではどの様な意見が出されたのか。またワークショップでの協議結果を踏まえた町の改善方向の報告会の内容はどのようなものか。